

平成29年度入学試験問題（前期日程）

実 技 検 査

教育学部 学校教育教員養成課程
中学校教育コース 教科教育専攻
美術教育専修

注 意 事 項

1. 解答時間は、240分である。
2. 試験開始の合図があるまで問題を見てはいけない。
3. 与えられた材料・用具以外は使用してはならない。

問 題

与えられた材料で「魅力のある形」をつくり，それを描写しなさい。

注 意 事 項

1. 与えられた用紙に描くこと。用紙の向きは自由。
2. 鉛筆で描写し，透明水彩絵具で着彩を加えること。

平成29年度入学試験問題（前期日程）

実 技 検 査

教育学部 学校教育教員養成課程

中学校教育コース 教科教育専攻

美術教育専修

出 題 の 意 図

教育学部のアドミッションポリシーでは、教育という営みの本質を学びつつ、主として学校教育に関わる今日的な問題に真剣に取り組もうとする、「教員として子ども及び社会と関わっていきたい人」「教育の理論と実践を広く深く学ぶ意欲のある人」「沖縄の歴史的・地理的・文化的・社会的特性を活かしながら、グローバルな視点に立って教育活動に携わりたい人」を求めており、その適性の中でも特に美術教育での適性を見るために、実技検査においては「発想力及び造形力」を見ることにしている。

本問は立体物の成形と鉛筆淡彩の描写をとおして、受験者の「発想力及び造形力」を多面的に問うものである。まずは与えられた二つの材料の特徴を理解し、「魅力ある形」へと展開する発想力、及びイメージを具現化する立体的な造形力を見る。そして、鉛筆淡彩の描写では、対象を的確に捉えるデッサン力や色彩感覚の豊かさを中心としながら、平面的な造形力を見る。